No. 1　268号　11.10.12

大正11年　月6日

第五十四回報告

一 時節柄逆行ニテ家賃三割値上要求　当市竹内関切抜
一 福岡県ノ農民生活　仝
一 仝 八月中職工移動　仝
一 福岡鉱務署管内坑夫移動（七月末）　仝
一 縣下遠賀鞍手両郡ノ鉱毒被害　〃
一 鉱毒被害地救済陳情書ヲ知事ニ　〃
一 鉱害地ヲ小作人ニ譲渡ス　〃
一 八幡製鉄所犠牲者第三号人　〃
一 北九州ノ官憲札幌ヲ実行　〃
一 長崎三菱造船所ノ勤休制度　〃
一 長崎ノ監獄部屋　〃

福岡総務部長殿

嘱託　高瀬経徳（高瀬）

飲めぬ悪水を飲まされ
耐り兼て市役所へ哀願
炭坑の壓制に虐げられた大牟田市大浦町の町民

一日午前十一時大牟田市大浦町住民總代五名は所屬第十一區の大坪區長と共に大牟田市役所に吉田助役を訪問して次の様な陳情をした

大浦町一帯は炭礦採掘の結果地面に亀裂を生じ井水涸渇し涸渇せざる井戸も惡水を變じた從つて炭礦側では此を自己事業の影響と認め三井鑛業所から日々給水し今後と雖も町民には當然給水を受ける權利がある然るに最近に至り三井鑛業所は水源が涸渇したといふ理由で使用に堪れぬ惡水を給與する様になつた、（代表委員は二瓶に詰めた給惡水を示し）依つて住民は炭礦に對し同町から約十町を隔つる谿谷には立派な水があるから此を給與して與れと懇願したが言を左右にして此の容易なる希望を容れぬ然して大牟田市上水道の布設も殆ど市内全般に亘つた様であるが大浦町附近は未だ其布設行届かず願くば市當局の力を以て炭礦と交渉の上上水道を以て給水する様權利の擁護方に就き盡力されたい

右に對し吉田助役は

當市に於ては貴町のみならず炭礦の給水を受くる町が點々所在して居る關係上是等の町々は上水道給水の希望申込なく當局としても實は手の付けやうがない尤も貴町の樣に公然當局に申込まれたのはないが別ご炭礦での間には種々交渉を重ね或は圓滿に解決したとも聞きしないとも傳へられて其眞相は當局でも確聞して居ないが上水道布設に及んで上市長が内々で炭礦に交渉して居る事もあるから市長が登廳した上何分のお答へをする

と言つて居たが此の要求が貫徹すれば他の炭礦給水町も同樣の要求を出ず模樣で炭礦の横暴壓制に對しては一般の非難が高い

佐世保市學童 營養不良七百
軍縮と影響
梅田視學語る

佐世保市は例年の通り本年も四月より五月に亘り小學兒童の身體檢査を行ふた處其の結果に依れば實に七百餘名の營養不良の兒童及びトラホーム寄生蟲等に犯されて居る者を發見した此の原因に就ては目下市醫の手で調査研究中である梅田市視學の談に曰く

毎年施行して居る身體檢査の結果今年位ゐ營養不良兒童を發見した事は初めてゞ其の兒童の多くは下層階級の子弟である中産階級以上の子弟にも多少居るが夫れは得て有る胃腸を患ひ健を損ふことも近因になる衛生思想の向上は爭へない事實であるが夫れに逆行して居る處から見ると軍縮に伴ふ生活難を裏書いて居る譯である其れに次でトラホーム患者も多いが二學期初めから先づ保立校から驅殺しに治療を行ふ筈である寄生蟲に犯されて居る兒童も隨分多いが是れも二學期始業と共に探鎖し嚴密なる檢査をし徹底的に驅除撲滅を圖る考へである云々